

安全データシート

カルフェントラゾンエチル

改訂日: 2024-01-29 版番号: 1

1. 化学品及び会社情報

製品識別子

製品名 : カルフェントラゾンエチル
CB番号 : CB0172059
CAS : 128639-02-1
同義語 : カルフェントラゾンエチル

物質または混合物の関連する特定された用途、および推奨されない用途

関連する特定用途 : 農薬 (除草剤) (NITE-CHRIPより引用)
推奨されない用途 : なし

会社ID

会社名 : Chemicalbook
住所 : 北京市海淀区上地十街匯煌国際1号棟
電話 : 400-158-6606

2. 危険有害性の要約

GHS分類

分類実施日

(物化危険性及び健康有害性)

R2.3.13、政府向けGHS分類ガイダンス (H25年度改訂版 (ver1.1)) を使用

JIS Z7252:2019準拠 (GHS改訂6版を使用)

物理化学的危険性

-

健康に対する有害性

特定標的臓器毒性 (反復ばく露) 区分2 (肝臓)

分類実施日

(環境有害性)

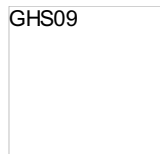
R1年度、分類実施中

環境に対する有害性

-

GHSラベル要素

絵表示



注意喚起語

警告

危険有害性情報

長期にわたる、又は反復ばく露による肝臓の障害のおそれ

注意書き

安全対策

粉じん/煙/ガス/ミスト/蒸気/スプレーを吸入しないこと。

応急措置

気分が悪いときは、医師の診察/手当てを受けること。

保管

-

廃棄

内容物/容器を都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に依頼して廃棄すること。

他の危険有害性

情報なし

3. 組成及び成分情報

単一製品・混合物の区別	: 単一製品
化学名又は一般名	: カルフェントラゾンエチル
別名	: エチル=2-クロロ-3-{2-クロロ-5-[4-(ジフルオロメチル)-3-メチル-5-オキソ-4,5-ジヒドロ-1H-1,2,4-トリアゾール-1-イル]-4-フルオロフェニル}プロパノアート
濃度又は濃度範囲	: 情報なし
分子式(分子量)	: C ₁₅ H ₁₄ Cl ₂ F ₃ N ₃ O ₃ (412.19)
CAS番号	: 128639-02-1
官報公示整理番号	: 情報なし
標準JIS整理番号	: 8-(3)-1016
JIS規格と与する不純物及び安定化添加物	: 情報なし

4. 応急措置

吸入した場合

空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。気分が悪いときは、医師の診察/手当てを受けること。

皮膚に付着した場合

大量の水で洗うこと。症状が続く場合には、医師に連絡すること。

眼に入った場合

水で数分間注意深く洗うこと。次に、コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。症状が続

く場合には、医師に連絡すること。

飲み込んだ場合

口をすすぐこと。気分が悪いときは、医師の診察/手当てを受けること。

急性症状及び遅発性症状の最も重要な徴候症状

情報なし

応急措置をする者の保護

情報なし

医師に対する特別な注意事項

情報なし

5. 火災時の措置

適切な消火剤

水噴霧、耐アルコール性泡消火剤、粉末消火剤、二酸化炭素

使ってはならない消火剤

情報なし

特有の危険有害性

情報なし

特有の消火方法

情報なし

消火を行う者の保護

自給式呼吸器、防護服 (耐熱性) を着用する。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具及び緊急措置

関係者以外の立ち入りを禁止する。

作業者は適切な保護具を着用し、眼、皮膚への接触や吸入を避ける。

環境に対する注意事項

周辺環境に影響がある可能性があるため、製品の環境中への流出を避ける。

封じ込め及び浄化の方法及び機材

危険でなければ漏れを止める。

少量の場合、ウェス、雑巾等でよく拭き取り適切な廃棄容器に回収する。

大量の場合、盛土等で囲って流出を防止する。

排水溝、下水溝、地下室あるいは閉鎖場所への流入を防ぐ。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い

技術的対策

「8. ばく露防止及び保護措置」に記載の措置を行い、必要に応じて保護具を着用する。

安全取扱い注意事項

粉じん/煙/ガス/ミスト/蒸気/スプレーを吸入しないこと。

接触回避

「10. 安全性及び反応性」を参照。

衛生対策

この製品を使用する時に、飲食又は喫煙しないこと。

取扱い後はよく手を洗うこと。

保管

安全な保管条件

情報なし

安全な容器包装材料

情報なし

8. ばく露防止及び保護措置

管理濃度

未設定

許容濃度

日本産衛学会 (2019年度版)

未設定

許容濃度

ACGIH (2019年版)

TLV-TWA: 1 mg/m³ (Inhalable fraction of the aerosol)

設備対策

取り扱いの場所の近くに、洗眼及び身体洗浄のための設備を設ける。高温下や、ミストが発生する場合は換気装置を使用する。

保護具

呼吸用保護具

情報なし

手の保護具

保護手袋を着用する。

眼の保護具

顔面シールド及び保護眼鏡を着用する。

皮膚及び身体の保護具

保護衣を着用する。

9. 物理的及び化学的性質

Information on basic physicochemical properties

物理状態	液体 (20℃、1気圧) (GHS判定)
色	黄橙色 (HSDB (Access on August 2019))
臭い	かすかな石油臭 (HSDB (Access on August 2019))
	-22.1℃ (HSDB (Access on August 2019))
	352.5℃ (PHYSPROP Database (2019))
	データなし
	データなし
	299℃ (ACGIH (7th, 2018))
	データなし
	データなし
	5.8 (1%水溶液) (HSDB (Access on August 2019))
	データなし
	水:22 mg/L (25℃) (PHYSPROP Database (2019)) トルエンに1.06 g/mL、ヘキサンに0.05 g/mL可溶 (ともに25℃)。アセトン、エタノール、酢酸エチル、塩化メチレンに混和 (HSDB (Access on August 2019))
	logP = 3.36 (PHYSPROP Database (2019))
	1.2x10 ⁻⁷ mmHg (25℃) (PHYSPROP Database (2019))
	1.457 g/cm ³ (20℃) (HSDB (Access on August 2019))
	データなし
	該当しない

融点/凝固点

-22.1℃ (HSDB (Access on August 2019))

沸点、初留点及び沸騰範囲

352.5℃ (PHYSPROP Database (2019))

可燃性

データなし

爆発下限界及び爆発上限界/可燃限界

データなし

引火点

299℃ (ACGIH (7th, 2018))

自然発火点

データなし

分解温度

データなし

pH

5.8 (1%水溶液) (HSDB (Access on August 2019))

動粘性率

データなし

溶解度

水:22 mg/L (25°C) (PHYSPROP Database (2019)) トルエンに1.06 g/mL、ヘキサンに0.05 g/mL可溶(ともに25°C)。アセトン、エタノール、酢酸エチル、塩化メチレンに混和 (HSDB (Access on August 2019))

n-オクタノール/水分配係数

logP = 3.36 (PHYSPROP Database (2019))

蒸気圧

1.2x10⁻⁷ mmHg (25°C) (PHYSPROP Database (2019))

密度及び又は相対密度

1.457 g/cm³ (20°C) (HSDB (Access on August 2019))

相対ガス密度

データなし

粒子特性

該当しない

10. 安定性及び反応性

反応性

「危険有害反応可能性」を参照。

化学的安定性

加水分解性

危険有害反応可能性

情報なし

避けるべき条件

情報なし

混触危険物質

情報なし

危険有害な分解生成物

炭素酸化物、窒素酸化物、フッ化水素、塩化水素ガス

11. 有害性情報

急性毒性

経口

【分類根拠】

(1)、(2) より、区分に該当しない。

【根拠データ】

(1) ラットのLD50: 5,143 mg/kg (ACGIH (7th, 2018)、HSDB (Access on July 2019))

(2) ラットのLD50: > 5,000 mg/kg (EPA Pesticide (1998))

経皮

【分類根拠】

(1) より、区分に該当しない。

【根拠データ】

(1) ラットのLD50: > 4,000 mg/kg (ACGIH (7th, 2018)、HSDB (Access on July 2019))

吸入: ガス

【分類根拠】

GHSの定義における液体であり、ガイダンスでは分類対象外に相当し、区分に該当しない。

吸入: 蒸気

【分類根拠】

データ不足のため分類できない。

吸入: 粉じん及びミスト

【分類根拠】

(1) より、区分に該当しない。

なお、LC50値が飽和蒸気圧濃度 (0.000158ppm) より高いため、ミストとしてmg/Lを単位とする基準値を適用した。

【根拠データ】

(1) ラットのLC50 (4時間): 5.09 mg/L (ACGIH (7th, 2018)、HSDB (Access on July 2019))

皮膚腐食性及び皮膚刺激性

【分類根拠】

(1) より、区分に該当しない。

【根拠データ】

(1) 本物質はウサギの眼に対しごく軽度の刺激性を有するが、皮膚刺激性及び皮膚感作性はない (ACGIH (7th, 2018)、HSDB (Access on July 2019))。

眼に対する重篤な損傷性又は眼刺激性

【分類根拠】

(1) より、区分に該当しない。

【根拠データ】

(1) 本物質はウサギの眼に対しごく軽度の刺激性を有するが、皮膚刺激性及び皮膚感作性はない (ACGIH (7th, 2018)、HSDB (Access on July 2019))。

呼吸器感作性

【分類根拠】

データ不足のため分類できない。

皮膚感作性

【分類根拠】

(1) より、区分に該当しないとした。

【根拠データ】

(1) 本物質はウサギの眼に対しごく軽度の刺激性を有するが、皮膚刺激性及び皮膚感作性はない (ACGIH (7th, 2018)、HSDB (Access on July 2019))。

生殖細胞変異原性

【分類根拠】

(1)、(2) より、本物質はガイダンスにおける分類できないに相当し、区分に該当しない。

【根拠データ】

(1) *in vivo*では、腹腔内投与によるマウスの赤血球小核試験及び肝細胞不定期DNA合成試験で陰性の報告がある (ACGIH (7th, 2018))。

(2) *in vitro*では、細菌の復帰突然変異試験及び哺乳類培養細胞の染色体異常試験で陰性の報告がある (ACGIH (7th, 2018))。

発がん性

【分類根拠】

(1) の最新の既存分類結果から、ガイダンスに従い、分類できないとした。

【根拠データ】

(1) 国内外の分類機関による既存分類では、ACGIHでA4 (ACGIH (7th, 2018))、EPAでNL (Not Likely to be Carcinogenic to Humans) (EPA Annual Cancer Report (2018): 2001年分類) に分類されている。

生殖毒性

【分類根拠】

(1)~(3) より、区分に該当しないとした。

【根拠データ】

(1) ラットを用いた混餌投与による2世代生殖毒性試験において、両世代の親動物に体重増加抑制がみられたが生殖影響はみられていない (ACGIH (7th, 2018))。

(2) 雌ラットの妊娠6~15日に本物質を経口投与した発生毒性試験において、母動物毒性 (泌尿生殖器の汚れ) がみられる用量で、胎児に波状あ

るいは肥厚した肋骨がみられている (ACGIH (7th, 2018))。なお、胎児にみられた所見は骨格変異と考えられ、また、母動物に対する影響は 600 mg/kg/day以上でみられ、胎児に対する影響は 1,240 mg/kg/dayでみられていることから分類根拠に相当する影響ではないと判断した。
(3) 雌ウサギの妊娠6~19日に本物質を経口投与した発生毒性試験において、母動物及び胎児に影響はみられていない (ACGIH (7th, 2018))。

12. 環境影響情報

生態毒性

水生環境有害性 (急性)

-

水生環境有害性 (長期間)

-

オゾン層への有害性

当該物質はモントリオール議定書の附属書に列記されていない。

13. 廃棄上の注意

残余廃棄物

廃棄においては、関連法規並びに地方自治体の基準に従うこと。都道府県知事などの許可を受けた産業廃棄物処理業者、もしくは地方公共団体がその処理を行っている場合にはそこに委託して処理する。廃棄物の処理を委託する場合、処理業者等に危険性、有害性を十分告知の上処理を委託する。

汚染容器及び包装

容器は洗浄してリサイクルするか、関連法規制並びに地方自治体の基準に従って適切な処分を行う。空容器を廃棄する場合は、内容物を完全に除去すること。

14. 輸送上の注意

国際規制

国連番号

該当しない

国連品名

該当しない

国連危険有害性クラス

該当しない

副次危険

該当しない

容器等級

該当しない

海洋汚染物質

該当しない

MARPOL73/78附属書II及びIBCコードによるばら積み輸送される液体物質

該当しない

国内規制

海上規制情報

該当しない

航空規制情報

該当しない

陸上規制情報

該当しない

特別な安全上の対策

該当しない

その他(一般的)注意

輸送に際しては、直射日光を避け、容器の破損、腐食、漏れのないように積み込み、荷崩れの防止を確実に行う。重量物を上積みしない。

緊急時応急措置指針番号*

該当しない

15. 適用法令

労働安全衛生法

該当しない

化学物質排出把握管理促進法 (PRTR法)

該当しない

毒物及び劇物取締法

該当しない

16. その他の情報

略語と頭字語

ADR: 道路による危険物の国際輸送に関する欧州協定

CAS: ケミカルアブストラクトサービス

EC50: 有効濃度 50%

IATA: 国際航空運送協会

IMDG: 国際海上危険物

LC50: 致死濃度 50%

LD50: 致死量 50%

RID: 鉄道による危険物の国際輸送に関する規則

STEL: 短期暴露限度

TWA: 時間加重平均

参考文献

- 【1】労働安全衛生法 ウェブサイト <https://www.mhlw.go.jp>
- 【2】化学物質審査規制法(化審法)<https://www.env.go.jp>
- 【3】化学物質排出把握管理促進法(PRTR法) <https://www.chemicoco.env.go.jp>
- 【4】NITE化学物質総合情報提供システム (NITE-CHRIP)<https://www.nite.go.jp/>
- 【5】カメオケミカルズ公式サイト <http://cameochemicals.noaa.gov/search/simple>
- 【6】ChemIDplus、ウェブサイト <http://chem.sis.nlm.nih.gov/chemidplus/chemidlite.jsp>
- 【7】ECHA - 欧州化学物質庁、ウェブサイト <https://echa.europa.eu/>
- 【8】eChemPortal - OECD 化学物質情報グローバルポータル、ウェブサイト <http://www.echemportal.org/echemportal/index?>
<http://www.echemportal.org/echemportal/index?>
pageID=0&request_locale=en
- 【9】ERG - 米国運輸省による緊急対応ガイドブック、ウェブサイト <http://www.phmsa.dot.gov/hazmat/library/erg>
- 【10】有害物質に関するドイツ GESTIS データベース、ウェブサイト <http://www.dguv.de/ifa/gestis/gestis-stoffdatenbank/index-2.jsp>
- 【11】HSDB - 有害物質データバンク、ウェブサイト <https://toxnet.nlm.nih.gov/newtoxnet/hsdb.htm>
- 【12】IARC - 国際がん研究機関、ウェブサイト <http://www.iarc.fr/>
- 【13】IPCS - The International Chemical Safety Cards (ICSC)、ウェブサイト <http://www.ilo.org/dyn/icsc/showcard.home>
- 【14】Sigma-Aldrich、ウェブサイト <https://www.sigmaaldrich.com/>

免責事項:

本MSDS中の情報は指定された製品にのみ適用され、特に規定がない限り、本製品とその他の物質の混合物には適用されません。本MSDSは、製品使用者の適切な専門的なトレーニングを受けた者にのみ製品安全情報を提供します。本MSDSの使用者は、本SDSの適用性について独自に判断しなければならない。本MSDSの著者は、本MSDSの使用によるいかなる傷害にも責任を負わない。